

学校名	相馬市立大野小学校	校長	佐々木 茂美
住 所	福島県相馬市大坪字東畑 7		
T E L	0244-35-2073	ホームページアドレス	http://www.bb.soma.or.jp/~oono-syo/

学び合い、伝え合いながら学びを高める子どもの育成 ～子どもの見取りと教師の働きかけの有機的なつながりをもとに～

取組みの概要

本校では、平成25年度から「生活科・総合的な学習の時間」の研究に力を入れており、上記のような研究テーマで取り組んでいます。相馬市内の北西部に位置する本校の恵まれた環境を生かし、『ひと・もの・こと』と関わって学ぶことで、新たなものを見出す面白さを感じながら、その中で気づきや考えを相手に伝えるように話したり、進んで聞いたりして、気づきの質や学びの質を高めていくことができる子ども」をめざして取り組んでいます。

内 容

1 生活科では



【いろみずができたよ】

東日本大震災・原発事故からの影響を考慮し、昨年度までは、屋外での活動や取り扱う**もの**などについては、条件をつけて行っていましたが、今年度からは震災以前のように行っています。具体的には、

- ◎ 1年生：「がっこうだいすき」「いきものとなかよし」「みんなとあそんでそれから」など
- ◎ 2年生：「1ねんせいとなかよし」「大すき、大野」「まちの人に会いに行こう」「あしたへジャンプ」など

2 総合的な学習の時間では

- ◎ 3年生：「調べよう！見つけよう！大野たんけん隊」
- ◎ 4年生：「輝きを求めて」
- ◎ 5年生：「食の未来探検隊」
- ◎ 6年生：「これからの相馬の防災について考えよう」



【なし畑って、すごい！】

などのように、地域とのつながりや子ども達の学びの道筋などを意識した単元構想として、伸び伸びと学べるようにしています。

子どもの変容

子ども達は、豊かな環境と余裕のある単元構想での学びを通して、「ひと、もの、こと」に進んで関わるができるようになり、改めて大野のよさや新たな課題に気づくことができるようになったようです。また、教師のコーディネートの工夫などにより、生活科や総合的な学習の時間では日常的な話し方での伝え合う姿を数多く見かけられるようになりました。さらに、これらの取組みを他の教科の学習でも生かしながら、**相馬一の学校**をめざしてがんばっています。